

指定管理業務評価結果書

1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	神楽尾公園
(2) 指定管理者	所在地 津山市山北7 6 4 番地5 名称 株式会社ガット 代表者 代表取締役 美甘信吉
(3) 公の施設の所管部署	津山市 都市建設部 公園緑地課
(4) 指定期間	平成 21 年 4 月 1 日 ~ 平成 26 年 3 月 31 日
(5) 評価対象期間	平成 25 年 4 月 1 日 ~ 平成 26 年 3 月 31 日

2 施設の利用状況

(1) 利用者数等	公園入園者数 47,892 人 ゴーカート利用者数人回 7,804 人回 (前年度 7,456 人回) 管理棟研修室利用者 6 回 述べ 180 人 野外調理施設利用者数 1,700 人 (前年度 1,689 人)
(2) 事業の内容	神楽尾公園さくらまつり 春・秋のこども交通安全教室 鯉のぼりイベント 七夕イベント (一般、しらゆり幼稚園参加) サツマイモイベント (しらゆり幼稚園参加) 夏休み親子陶芸教室 神楽尾ウォーキング&クッキング (春・秋)

3 収支の状況

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総額 11,733 千円 (前年度 11,664 千円) 利用料金収入 993 千円 指定管理料 10,580 千円 自主事業収入 49 千円 その他の収入 111 千円
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総額 11,020 千円 (前年度 11,546 千円) 主な支出 人件費 7,981 千円 光熱水費 339 千円 修繕・消耗品費等 1,287 千円 委託料 (施設管理) 224 千円 負担金・租税公課 473 千円 その他 716 千円

4 総合評価結果

<p>(1) アンケート調査等の概要</p>	<p>神楽尾公園の周辺にお住まいの方がより楽しめる自主事業イベントを企画する為、イベント開催に関する調査を3月1日、3月8日と二日間ではあるが行った。土曜日の日中という事で、平日に比べ回答頂ける世帯が多く50世帯中34世帯の回答を頂いた。年代別にも50代60代の世帯が多くなった。</p> <p>自主事業イベント案として吹奏楽コンサートなどの開催については、調査を行った世帯すべてが賛成という結果。その他にどんなイベントを企画を行ったら良いかについては、正月にも何か行ってほしい、開催時期はいつでも良いが楽しめる盛り上げるイベントを行ってほしいなどの意見があった。</p> <p>また道端でローラースケートを行う子がいる為、安全面でゴーカート運休日にコースを借りたりできないかなど貴重な意見を頂いた。社内及び市との協議を重ね色々意見を取り入れて行けるように努めたいと思います。</p>
<p>(2) 指定管理者の自己評価</p>	<p>入園者数として前年の18,440人(従来計算方式)に対して平成25年度は、19,720人(前年対比107%)と平成22年度の入園者数20,475人に近づく結果。新入園者数計算に当てはめると過去最高の47,892人となり、新計算方式の前年対比は105%と、今年度も利用者増加となった。</p> <p>快適な公園を目指し、剪定、草刈、除草に取り組んだ。夜間における野外施設無断利用者による私有地への生ごみ等の不法投棄については、地域住民からの要望もあり、警察による夜間パトロールの強化を実施している。年度事業計画に対しては、利用者アップから公園管理、自主事業等、ほぼ計画通りに実施できた。</p>
<p>(3) 市の評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画に基づき管理運営業務が着実に実施された。 ・施設整備、修繕も意欲的に取り組み実施され、事故の発生の抑制に繋がっている。 ・入園者数(指定管理者推計)が増え、ゴーカート利用者、利用料金ともに増加した。 ・多くの自主事業を実施するとともに、雑誌への掲載やホームページの作成、公園パンフレット、事業開催のチラシの作成・配布、宣伝広告を実施しており、入園者数の増に繋がっている。 ・公園利用者や周辺住民の要望に応えている。 ・収支計画は、運営経費の削減に努めるとともに、利用料金の増となり、計画を上回る結果となった。 ・地域の団体と連携した事業を実施し、公園の活用に繋がっている。 ・業務を意欲的に実施され、努力したことが結果となっている。